

民主島根

2017年
6.25
第1290号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

共謀罪強行、加計疑惑…「自公ひどすぎ」 自公と維新 少数に追い込もう

松江 大平 衆院議員、岩田 衆院島根1区予定候補ら訴える

日本共産党の大平よし
のぶ衆院議員は17日、
松江市の大型商業施設前
で約50人を前に演説し
ました。

大平氏は「共謀罪」強
行成立について話し、「安
倍政権はどこまで民主主
義を破壊すれば気が済む
のか。私はみなさんとと
もに、自民、公明の暴挙・
蛮行に対し、満身の怒り
を込めて糾弾したい」と
訴えると、大きな拍手が
沸き起こりました。

信号待ちの人で手を振
る人や、車の窓を開けて
声援を送る人も見られま
した。

待ち合わせをしていた
女性(19)は「女性な
ので個人情報監視され
るのはとても怖い」と話
し、高校生の男女(17)
は「政治は詳しくないが、



国会報告する(右から2人目)大平氏(写真上=松江市)、原爆
パネル展を訪れ、激励する大平氏(写真右下=松江市)

監視社会になるのは怖
い」と話しました。民進
党の支持者だという男性
(48)は「共産党は力
をつけてきていると思
た。」

戦争させない、 松江・出雲で集会&パレード

松江駅前 150人集う

しまね総がかり行動
実行委員会は19日、松
江市で集会を開き、市民



ら150人と野党3党の
代表が「共謀罪」法と戦
争法の廃止をめざすこと
を確認しました。

日本共産党の岩田たけ
し衆院島根1区予定候補
(写真)、民進党の亀井亜
紀子県連副代表、社民党



騒音・低周波音で 健康に懸念

浜田市と広島県北広
島町にまたがる中国山地
に風力発電を建設する計
画があり、電力開発事業

風力発電所建設、JR三江線… むこせ氏、尾村・大田県議ら調査

日本共産党の、むこせ慎一衆院島根2区予定候補
は、尾村利成、大田陽介の両県議、遠藤秀和県議団事
務局長らと、6日には浜田市金城町の風力発電の建設
予定地を視察し、13日は美郷町でJR三江線や子育
て支援などについて町の担当者との意見交換しました。

の足立昭二県連副代表が
熱く訴えました。

出雲・後藤市議が
連帯あいさつ



「戦争法廃止6・18
行動」が18日、出雲市
で行われ、約70人が「戦
争法の廃止をめぐすこと
を確認しました。」



社グリーンパワーイン
ベストメント(東京)に
よれば、大佐山や鷹ノ巣
山に高さ約150メート
ルの風力発電所を17基
設置し、2022年春の
稼働を予定しています。

鉄道資産の活用、 負担に不安の声

中原保彦・美郷町議予
定候補とともに訪れた役
場での懇談(写真左)で
は、三江線廃止後の代替
バス運行に関わるJR西
日本の負担のあり方や鉄
道資産の活用などについ
て「広域交通という鉄道
の性格上、県がリーダー
シップを取ってほしい」
と要望しました。

鼓動

「あなたの目はいくつあ
りますか」と聞かれると、
「2つ」と答える人がほと
んどではないだろうか。物
事を成功に導く、成果をあげる
ためには、能力が高ければいい
ということではなく、「3つの
目」を同時に持ち、多角的な視
点を持つて物事を捉えることが
大切だということを数年前、教
わった▼それは「鳥の目」「虫
の目」「魚の目」の3つの目。「鳥
の目」とは、高い位置から下を
見て全体像をしっかりと把握する
こと。「虫の目」は、地に面した
低い位置にいるからこそ、上か
らでは見えなかったことが見え
るようになり、近づいて様々な
角度で物事を詳細に把握するこ
と。「魚の目」は、魚が目には見
えない川の流れを体全体で感じ
るように、時代の変化や潮流を
感じ取る▼物事を考えた
り、捉えたりする時には、長期
的視野で物事を見る目、小さな
ことを見逃さない目、流れや変
化をつかむ目、という3つの目
を持つことが大切ということな
のだから▼しかしながら、精神
的、時間的に余裕のない暮らし
や日々追われていくと、どう
しても「虫の目」だけで物事を
考えてしまいがちになる。私自
身、いま目の前に起きている事
象(部分)だけに目を奪われ、
周囲のことや、これからのこと
に考えが及ばなくなってしまう
ということもままある▼私たち
は日々、様々な情報に接して生
きている。その中で何を選び、
どう生かしていくかの判断は難
しいところだが、極力、この「3
つの目」でしっかりと再考するよ
う努めていきたい。(遠)

島根原発1号機廃止措置

中電に廃炉事業任せられない

尾村・大田県議が中電ただす



県原子力発電所周辺環境安全対策協議会が8日、松江市で開かれ、中国電力島根原発1号機の廃炉計画について、同社と原子力

規制庁から説明を受けました。溝口善兵衛知事や30キロ圏内の自治体職員、議員が出席しました。質疑応答で、日本共産党の尾村利成県議は、使用済み核燃料の搬出先とする再処理工場(青森県六ヶ所村)が来年度に稼働する保障がないなどの問題を挙げ、使用済み核燃料を再処理して再び燃料として使う核燃料サイクルはまだ未確立だと指摘。「こんな状況で新たな核のゴミを生成する(2号機)の原発再稼働などあり得ない」と訴えました。(写真)

地域の話 アラコム

江 東京若者憲法集会 島根から3名参加

5月21日、東京・新宿で「若者憲法集会」が開催され、島根から亀谷優子民青県副委員長と2名の高校生同盟員が参加しました。

午前は5つの分科会にわかれ、学習・議論。午後の全体集会では、石川康宏神戸女学院大教授をゲストにパネルディスカッション。その後、全国から集まった若者が奨学金や沖縄基地問題など、今の政治に対する不信感や不満を壇上から訴え、デモ行進では、1800人の若者が「憲法変えるな! 政治を変えろ!」「共謀罪反対!」などとコールしま

南 学力テスト廃止を 伊藤議員が要求

伊藤議員一本町でも小学校2校で授業時間を使ったテスト対策が行われていたことが判明した。真の学力向上の道は、行き届いた教育の実施や教育費の無償化など安心して学べる条件整備を進めることだ。学力テストの点が教育の最重要課題であるかのような風潮が蔓延している現状にあり、全国学力テストは廃止すべきと考えるがどうか。

答弁「学力調査は、学力の実態を把握し、次の指導に生かすということだが、今の状況はちよ

江 「三三線問題」意見書 党市議団が提案

「JR三三線廃止後の代替交通」に関する陳情が2日、議会運営委員会で「上程すべきでない」と決定されたことを受け、党市議団は提出者の自治会長らと懇談し、国・県への意見書案を作成し、6月議会へ議員提案しました。

意見書案は▼県道日貫川本線と市道川戸線渡田線を代替交通バスの運行経路の一つとすること▼上下線ともに1日8便以上を確保し、デマンドバスを導入する場合でも、平日の毎日運行を可能にすること―などを含む9項目を求めています。(「11」つ「民報」より)

大田陽介県議は「30キロ圏内の住民への説明責任を果たすべきだ。点検」と批判しました。

くらし・福祉最優先の市政へ

出雲市議会 後藤市議が長岡市長を追及

日本共産党の後藤由美出雲市議は9日、市議会で初質問に立ち、憲法や原発、子育て支援、公共交通について、長岡秀人市長の所見を質しました。(写真) 先の選挙戦で公約していた子どもの医療費の中学卒業までの無料化を取り上げた後藤市議は、住民からの切望の声を紹介し、「県内6割の自治体が中学卒業まで無料にしている。出雲市で



安倍政権の暴走阻止へ

岩国・沖繩のたたかいに学んで

中国ブロック各県のみなさん、こんにちは。今後、紙面を通じて私の活動をお伝えすることにしました。よろしくお願います。

5月は、全国遊説で各県を訪れるとともに、基地強化許さない2つのたたかいに参加しました。一つは、米海兵隊岩国基地(岩国市)への艦載機移駐容認の動きがある中で開かれた「愛宕山見守りの集い」です。「空母艦載機移駐認めない」「愛宕山に米軍住宅をつくらせない」と、「見守りの集い」が毎月「1」のつく日に開催されています。

かきうち京美 衆議院比例 中国ブロック
中国地方の声を
まっすぐ届けて



私は、周りの方に協力してもらってメッセージを書いた徹布を渡し、激励の思いを届けました。会場に着くと、全国から寄せられた何枚もの徹布が掲げられていました。「陸上自衛隊日本原駐屯地に岩国の部隊による訓練の要請がきているが、現地は受け入

も行うべき」と迫つたのに対し、部長は「中学3年まで対象を広げた場合、新たに毎年4億円必要となる」と答弁。長岡市長は「限られた財源の中で、さらなる対象年齢の引き上げは難しい」と答えました。後藤市議は「一般会計約777億円から見れば4億円はわずか0.5%。税金の使い方を変えればできる」と指摘。「暮らしやすい出雲にするには憲法を守り、原発ゼロを決断するしかない」と強調しました。



私を認めていない。みなさんと心一つにがんばります」と決意を述べました。もう一つは、沖縄県民集会。3、4、5月と辺野古で毎月開かれ、今回も2000人が結集しました。「辺野古新基地阻止、K9工事やめよ、環境破壊許さ

映画上映「スノーデン SNOWDEN」
6月30日(金) ①14:00~ ②18:30~
松江市市民活動センター 交流ホール
入場料:一般1,100円(当日1,300円)
高校生800円(当日のみ)/中学生以下無料
前売券:県民会館チケットコーナー、プラバホール
主催:松江市青団連、松江キネマ倶楽部

ない」「翁長知事、稲嶺名護市長を支えよう!」と、たたかいか抜く決意を固めました。へり基地反対協の安次富浩共同代表が「工事は計画通りに進んでいない。止めることはできる」と強調。「オール沖縄」の国会議員がそろって宣伝カーの上を並び、「団結」をアピールしました。「オール沖縄」の団結は今なお揺るぎないもので、翁長知事をしっかり支えていること、日本共産党が大事な役割を果たしていることを肌で実感してきてきました。「勝つ方法はあきらめないこと」――野党共闘の始まりともなった「オール沖縄」の不屈のたたかいに学び、民主主義を壊す安倍政権の暴走阻止へ、力を尽くします。(写真は、市田副委員長を迎えた党を語るつどい6月3日、浜田市・いわみーる)